



平成 22 年度総会開催のご案内

平成 22 年度総会を次の通り開催いたします。万障お繰合せの上
 ご出席賜りますようお願い申し上げます。今年度は会場を横浜駅西口
 に移し、かながわ県民センター会議室での開催です。総会終了後、
 懇親会を予定していますので、こちらにも是非ご参加ください。詳
 しくは「総会資料」をご覧ください。

~~~~ 記 ~~~~

- 総 会 日時 平成 22 年 5 月 22 日 (土) 15 時 30 分 ~ 17 時 00 分  
 (開場 15 時 15 分)  
 場所 かながわ県民センター7 階 711 会議室 (横浜市神奈  
 川区鶴屋町 2-24-2)  
 懇親会 時間 同日 17 時 30 分 ~ 19 時 00 分  
 場所 津多家(つたや)横浜鶴屋町店 (TS プラザビル B1)



## かながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」開催

コミュニティカレッジ事業担当 桑原 清

昨年度に続き今年度も、かながわコミュニティ  
 カレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」  
 を開催します。今回で 4 回目の開催となります。

今回は「地球温暖化と生物多様性」をテーマと  
 し、東電横浜火力発電所、相模原市南清掃工場  
 の見学や自然観察等を取り入れ、より魅力的なプロ  
 グラムになることを目指しています。

この講座は、環境問題に関心があり環境ボラン  
 ティア活動を始めたいと考えている人や、既に環  
 境ボランティア活動を開始しているが活動の範囲  
 を広げたいと考えている人を対象にしています。  
 より多くの方が環境問題に関心を持ち、ボランテ  
 ィア活動に積極的に取り組む人が増えることを願  
 っており、こうした人達が私達 K・リーダー会と  
 一緒に活動を展開できるようになることを期待し  
 ています。

詳しい講座の内容については当会ホームページ  
 をご覧ください。

[http://npo-k-leader.net/jimukyoku/2010-3-28ko\\_mikare.html](http://npo-k-leader.net/jimukyoku/2010-3-28ko_mikare.html)

| 日時               | 内容                 | 講師                  |
|------------------|--------------------|---------------------|
| 5月11日<br>(火)     | オリエンテーション          | K・リーダー会<br>桑原 清     |
| 13:30 ~<br>17:00 | 生物多様性と環境問<br>題について | 学習院大学講師<br>石綿 進一    |
| 5月18日<br>(火)     | 自然観察               | 自然環境部会<br>吉田 榮一     |
| 13:00 ~<br>16:30 | 水生生物と水質判定<br>を学ぶ   | 水環境部会<br>齋藤 昭一      |
| 5月25日<br>(火)     | 相模原市南清掃工場<br>見学    |                     |
| 13:30 ~<br>17:00 | 地球温暖化と循環型<br>社会    | 廃棄物 G03 部会<br>内藤 克利 |
| 6月1日<br>(火)      | 東電横浜火力発電所<br>見学    |                     |
| 13:30 ~<br>17:00 | 地球温暖化と省エネ<br>ルギー   | エネルギー部会<br>安藤 紘史    |
| 6月8日<br>(火)      | 買い物で社会を変え<br>よう!   | グリーン部会<br>柳川 三郎     |
| 13:30 ~<br>17:00 | ワークショップ            | K・リーダー会<br>講師全員     |

# 第16回 市民環境活動報告会 を開催して

第16回市民環境活動報告会実行委員長 内藤克利

## 運営形態の変更

昨年来皆様には開催案内をお送りしておりますのでご存じだと思いますが、この第16回市民環境活動報告会は去る2月27日無事終わりました。ご支援有難う御座います。

この16回開催から、運営はすべて市民サイドに変わりました。即ち神奈川県環境科学センター(KERC)は単なるオブザーバーとして参加し、運営は当会とNPO法人かながわ環境カウンセラー協議会(KECA)とで実行委員会を立ち上げ、その実行委員が主体性を持って運営する形で行いました。資金も実行委員会で調達するという大変な作業です。

実行委員は当会5名、KECA3名、計8名で委員長は当会から選出の体勢です。これにオブザーバーとして県環境科学センター及び県環境計画課アジェンダ推進班から各1名参加し、色々支援して頂きました。

## 資金調達の困難さ

このような市民参加型は遅かれ早かれ移行する時代であり、やむを得ないのですが、資金の調達は大変で今回はかなりの分野でKERCのお世話になりました。結果的には生協グループから少々資金援助頂き、僅かの出費でおわりになりましたが、今後の運営には資金力が必要であることを痛感した次第です。

次年度も行うことになるでしょうから、その諸準

備作業を始めねばなりません。

## 変化する参加者風景

そんな報告会を開催して意味があるのかと質問も出ます。初めは環境学習リーダーが努力の結晶を発表する場であり、年1回開催する毎に同窓会風の雰囲気集まり意見交換しながら会場の椅子を占拠する風景でした。現在の風景は大きく変わっています。各リーダーは独立独歩の風合いが強くなりました。

次年度からかながわ地球環境保全推進会議から1人参加する予定です。この推進会議は、「新アジェンダ21かながわ～持続可能な社会への道しるべ～」を纏めて発表した団体で、神奈川県の環境活動推進母体です。多くの面で寄与して頂けるものと期待しています。

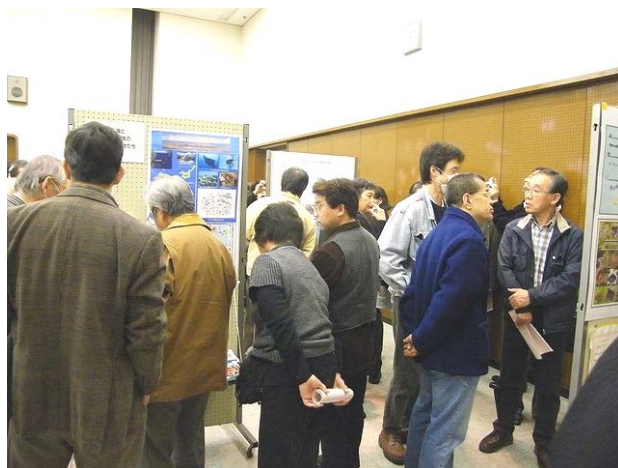
このようにこの報告会の応援団体は増えています。当会はこれら応援を糧としてより強い団体にならなければなりません。運営も積極的に参加し、演壇にも積極的に参加する当会員になって下さい。

## 次年度に向けて

第16回は地球温暖化と生物多様性のテーマで行いましたが、当会は全ての環境問題に対応できる団体ですから、どんなサブテーマにも対応可能です。そのために次年度はそれなりの予算を確保して対応できる体勢を築かねばなりません。予算のみならず、会員各位の協力も併せてお願いいたします。



多数の来場者を集めた基調講演会場



にぎわうポスターセッション会場

## 環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」実施報告

エネルギー部会 安藤 紘史

昨年に続き、はまぎんこども宇宙科学館での環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」をエネルギー部会が中心となって実施しましたので報告します。

これは財団法人横浜市青少年育成協会殿の依頼にもとづき、7月「大気汚染・地球温暖化をしらべよう」、8月「古紙紙管を利用した写真たてを作ろう」に続き実施したものです。

2月13日(土)雪のちらつく寒い日でしたが、21名の子どもが参加、3時間にわたり、実験や工作を行いました。

地球温暖化の話、省エネ実験とゲーム、オルゴールづくりと多岐にわたる内容でしたが、楽しみつつ省エネの大切さを自分のこととして感じてくれた様子でした。



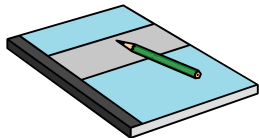
ソーラー発電の実験



ソーラーオルゴールづくり

工作においては、オルゴールが鳴ったあと、自分だけのオルゴール箱にすべく、その装飾に一生懸命で、時間が足りないほどでした。

アンケートには、21名中20名が「大変楽しかった」とあり、感想には「地球温暖化をとめるには、私が省エネなどをしなければならなかった」と等、力強い子ども達の言葉が記載されていました。関係者一同喜んでおります。家庭に帰っても太陽のエネルギーの大きさを感じつつオルゴールを鳴らしてくれることでしょうか。そして家族と省エネを続けてくれることを願っています。



新エネルギーをテーマに

### 第1回勉強会の開催

副代表 内藤克利

初めての企画です。表題は「新エネルギーとは何」としました。何を今さらの感じのような気もしますが、何故太陽光発電が脚光を浴び、太陽熱温水器は話題にもならないのかと素朴な疑問が生まれました。また会員の皆様の中に同じような疑問をお持ちの方も居られるのではと考え、古いテーマですが取り上げました。幸いに10名の方が参加されました。

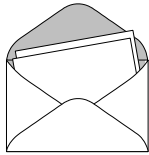
県職員からはK・リーダー会の方は十分な知見もお持ちだからとの辞退の言葉も出ましたが、納得されて2時間15分の講義を頂きました。お陰で質問の時間がなくなり、聴講者の方々には質問の機会も準備できなくなり大変失礼しました。



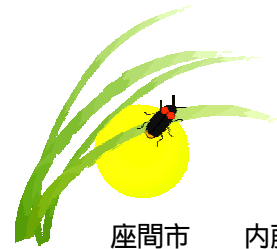
この講義内容は、総会時の会場に置いてありますのでご活用下さい。また当会のHPに掲載されて

います。この新エネルギーについての解説は経済産業省資源エネルギー庁のHPに掲載されています。

何故勉強会をはじめたのかをお話したい。当会がNPO法人化して数年経過し、その間役員は必死に働いてきましたが、何が残ったかと言われると困ります。幸いに当会の知名度、信頼度は向上しております。会員の皆様から貴重な会費を頂き、それに報いるべく努力していますが、多彩な作業に埋もれて何をしたのかと言われるとすぐには答えができません。そんな状況下での勉強会開催です。開催目的は会員のレベルアップと会員間の交流です。今後、年数回開催したらと考えています。但し、予算ゼロですから高尚な講座は開けないないでしょうが、今回のように県の出前講座を利用すると場所代だけで済みます。今回は役員サイドでテーマを決めましたが、できれば会員提案が欲しい。遠慮なくご連絡下さい。



## 座間での地域活動



座間市 内藤 克利

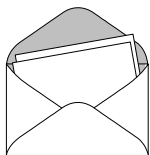
私の地域活動とは座間市における環境活動です。何故ならば、座間市自体では組織的な環境活動は見当たらず、学校単位、教育委員会単位と独自性を尊重しているのか、ある小学校では教頭、学年主任とかが、計画を立て予算化し、先生自身が先生になって指導しています。

大人は公民館主催のあすなる大学(大学院もある)に入校するケースが多く、その卒業生が、例えばホテルを守る会に入会すると、地域別担当者に教育をまかせることとなります。お陰で会員 60 名となり、活動範囲を拡大する方向です。目久尻川ウォッチング、わさび田クラブなど数多くのテーマ別コースの指導者になります。ホテル生息地は市で 10 年間保全することが決まったため、その場所は市の管理となり、工具等貸与、必要な資材は購入して頂くなど

システムが出来上がったため、別団体名を登録して運営しています。場所はわさび生産地であり、その地下水が清流となりわさび田内を流れています。ここでカワニナの育成を行っており、敷地内にある孟宗竹を間伐し、その材料でカワニナを育成すると成長が早いです。ホテルの会員がリーダーになり、生ごみの堆肥化にも取り組んでいます。

自然界で遊びながら学ぶことは多く、目久尻川、芹沢川、芹沢公園、谷戸山公園、鳩川などはホテルの会が管理している感じです。目久尻川は不法投棄監視体制で管理中です。

その他、教育研究所の協力によって、年 2 回の NO<sub>2</sub> 測定も行っています。座間市の K・リーダー会会員は少ないのですが、それなりに頑張っています。



## 逗子だより

エネルギー部会 安藤 紘史

「逗子の良いところは？」と聞かれたら、「温暖な気候で、首都圏の中ではまだ自然に恵まれている」と答えるでしょう。しかし、少し遡ると大きな変化が起きていることに気づきました。先日、市の消防本部が観測した 1965 年からの気温データを調べたところ、この 40 年余りで平均気温が 1 度以上上昇していました。更に、60 年代後半では年間最高気温が 30 度以下であったものが、最近は毎年 35 度を越えるようになり、6 度も上昇したことになります。地球温暖化と都市化の影響と思われるが「目にはさやかに見えねども、気温の変化に驚かれぬる」でした。きっと、自然も大きく変わっていることでしょう。

市内に、「ずしし環境会議」という環境団体があります。6 年余り前にこの団体に入れていただき、一緒に子どもへの啓発を心がけてきました。

4 年前に市が教材購入予算をつけてくれたので、幾つかの省エネ、新エネ実験教材を作りました。これを契機に出前授業や環境教室が始まり、その機会も徐々に増えてきています。今年度は、中学校 3 校(市立中学校全校)に 4 回、小学校 1 校(市立小学校は全部で 5 校)に 2 回行いました。また、市内で

の夏休み子ども環境教室を 2 回(小学校高学年向けを KERC 殿とリーダー会共催で、小学校低学年向けをお母さん達のグループと開催)行いました。この間、講座のプログラムも、省エネコース、新エネコース、CO<sub>2</sub> コース、太陽の力コースと増えました。今後とも、学校や教育委員会へ働きかけて行きたいと思えます。

二酸化炭素削減はますます急を要するテーマとなってきました。逗子市には大きな工場も店もありません。従って家庭部門が起因する CO<sub>2</sub> 排出(自家用車やゴミも含む)比率は市域の排出量の 2/3 を超えていると予想されます。それだけに、微力ですが地域の方々、隣接市町村の仲間と共に、家庭や学校向け啓発を継続して行きたいと考えております。



夏休み環境体験教室の工作



# 北の大自然の中で

自然環境部会 土屋俊幸

神奈川県を離れ、北海道で生活を始め早1年。雪（原稿執筆時にはまだまだ雪は残っていますが...）の季節も無事終わり、フキノトウやフクジュソウが花咲かせ始めました。



現在、私は登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」の指定管理団体であるNPO法人 登別自然活動支援組織モモンガくらの職員として働いています。業務としては2つの側面があり、1つは来館者への自然ガイドや川遊びといった自然体験の提供、もう1つはボランティアのマネジメントです。前者の様子は、会報68号で吉田様が執筆していただいていますので、今回は後者について紹介したいと思います。



モモンガくらの会員は170名ほど、有給の職員は9名で、年間400近くの事業・活動を展開しています。

それには有給スタッフだけではもちろん対応しきれず、多くのボランティアの方に協力いただいています。市街地から10kmほど山奥に立地し、公共交通機関が無いにも関わらず、20代前半の若い方から小さい子を持ったお母さんたち、子どもが自立して時間に余裕ができた方、定年を迎えた方など幅広い年代の方が、ふおれすと鉱山に集まってくれます。

モモンガくらぶには子育て支援をするチーム、水

生昆虫などを調査するチーム、施設を改良する大工チームなど20のチーム（当会の部会に相当）があり、時に連携し、時に分担して、活動を展開しています。（詳しくは下記のホームページをご覧ください。）

そのなかで私たちスタッフは、ボランティアの方々にやりたいことを思いっきりやってもらえるようにサポートをしています。しかし、ただボランティアが満足するだけではなく、その活動に意味を持たせ、環境教育や地域づくりにつなげていくことが重要であり、ボランティアを盛り上げ、支え、しっかりとしたマネジメントを展開していくことがスタッフとしての大きな使命となっています。

こういったボランティアを巻き込んだ取り組みの結果、人口5万人の市において年間2万5千人以上の方に施設を利用していただいています。

自然環境部会の自然観察会や、情報交換など神奈川県環境学習リーダー会とのつながりをもって、協力して環境教育の推進をしていくことができると願っています。



写真提供 モモンガくらぶ

~~~~~  
NPO法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ

モモンガくらぶ公式ホームページ

<http://npo-momonga.org/>

ブログ『ふおれすと鉱山の日々』

<http://blog.canpan.info/momonga/>

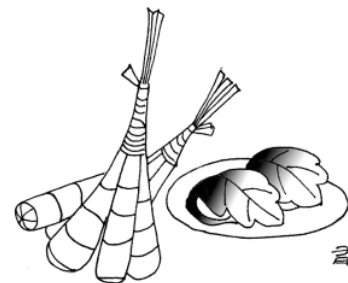


ボランティアさんと一緒に



冬のキャンプ

部会活動



ケナフ部会 部会長 荒谷 輝正

活動予定(平成22年4月~6月)

- ・4月24日 「ケナフ種まき」を予定
ブログの作り方を環境科学センターで開催予定
- ・5月下旬開催(日時未定)

対外活動予定

現在予定なし

活動結果(1月~3月)

部会例会

- ・2月24日ケナフ部会研修旅行 杉山紙業株式会社
(静岡清水区興津)8名参加

・3月28日 環境科学センター畑起こし6名参加。
対外活動

- ・1月13日 相模原環境情報センターにて「相模原市パンダの会」(未就学児の子供を持つ親の会)でケナフを利用した紙すき実施 親子25名参加。
- ・3月5日 野庭団地第9自治会春の行事で「牛乳パックによる紙すき」実施。約100名が体験。
- ・3月19日 相模原市立環境情報センターで「相模原モンキークラブ」(未就学児の子供を持つ親の会)でケナフによる紙すき実施 親子32名が参加。

エネルギー部会 部会長 安藤 紘史

活動予定(平成22年4月下旬~7月)

- 4月20日(火)新日本石油 創エネハウス見学会
定例部会(県民サポートセンター、16時~18時)
- 5月12日(水)702号室
- 6月9日(水)703号室
- 7月14日(水)703号室

平成22年度活動方針

基本的には昨年度の活動を踏襲すると共に、次の点にも留意して取り組む。

- ・新しい共同研究テーマへの取り組み ・見学会の開催 ・他部との交流 ・リーダー会活動へ役員以外の会員も参加

平成21年度活動報告

昨年度に比べ、質量ともに活発に行うことができた。特に共同モニタリング等の新しい取り組みを開始することもできた。

定例会を毎月実施(12回) その多くの時間を相互啓発に当てた。テーマは海外情報から実験報告まで多岐にわたった。

共同研究(モニタリング)実施

8会員の家庭の冷蔵庫の消費電力量を1年間にわたりモニタリング。冷蔵庫の表示電力量の信頼性、年間消費電力量を短期間に推定する方策等興味ある結果を得た。

学校への出前授業

県の学校派遣事業として2校で3回実施・・・湯本小学校、富士塚小学校(2回)
アジェンダ推進センター委託事業としては境木中学校で実施。

子供環境体験教室

県の夏休み子供環境体験教室には3地区(座間、逗子、南足柄)で参画。

はまぎん子ども宇宙科学館で「ソーラーオルゴールを作ろう」を実施。

一般向け啓発活動

リーダー会の啓発事業に積極的に参加・・・親子で楽しむ環境展、水と緑の日、旭区環境教室、アジェンダの日等。

大気環境部会 部会長 猪股 満智子

活動予定

- 定例部会 5月29日(土)13:30~16:30 NPO
センター大船
H22年度部会活動計画と役割分担等
NO₂測定準備 ろ紙の装填
- 6月3日(木)18時~4日(金)18時の24時間

6月度NO₂一斉測定

- 6月13日(日)13:30~16:00 KERC 実習室
NO₂分析と情報交換

活動報告

- 2月27日(土)12:30~17:10 県民センターホール

第16回市民環境活動報告会でちょうど10年間実施してきた活動(主にモニタリング活動)を口頭(安丸元一)とポスターセッション(長村吉洋、

安丸元一、佐伯秀夫)で発表、展示した。
3月13日(土)13:30~16:00 NPOセンター大船
活動総括とH22年度活動方針について

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

活動予定 6月6日(日)9時集合、大井松田駅(山側)河内川調査
平成22年度事業 第2次5ヶ年計画、西丹沢水系外来種調査(アメリカナミウズムシ)を中心とした調査を開始する。環境科学センター、水生生物モニタリング(河内川中心) 神奈川県中心の大学との「水生生物を中心とした水質調査」活動。

そして ~ の活動の根底に「地球温暖化による影響が水生生物の世界に現れているか?」も課題に活動をしてまいります。活動が広範囲に展開するところから多くの男性活動会員の参加を求めてまいります。

平成21年度事業 西丹沢水系酒匂川支流「狩川の川の連続性」についての調査は終了しました。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

平成22年度活動計画

決定している事業

6月8日(火)13時30分~15時20分 かながわコミュニティカレッジにてグリーン購入の考え方と実践について。

現在企画中の事業

- ・夏休み環境科学センターにて夏休み子ども環境体験教室 テーマは地球温暖化防止のために太陽光発電について
- ・秋の環境科学センターにおける人材育成講座の講師担当について
- ・そうぜん小学校へ「エコな買い物の仕方を学ぼう」の講師
- ・みずほ小学校へ「エコな買い物の仕方を学ぼう」の講師

定例会議は毎月開催。

平成21年度活動報告

6月13日(土)親子で楽しむ環境展へ参加してグリーン購入のアンケート実施。

6月30日(火)コミュニティカレッジに講師とし

て柳川、齋藤、上田、吉田各氏担当する。

7月26日(日)平塚市環境フェア2009に参加して紙芝居「宇宙人ミノリン」を行う。

8月23日(日)横浜市泉区環境フェアに参加して環境カルタ、ソーラークッカーを行う。

10月24日(土)環境科学センターにおける人材育成講座の講師担当、テーマ「買い物の仕方です社会を変えよう」実施事例にて指導を行う。

10月27日(火)と29日(木)平塚市金目小学校にて地球温暖化対策の授業「生ごみの処理体験」の指導を行う。

10月31日と11月1日「アジェンダの日」にグリーン購入の意識調査アンケート実施する。

1月15日(金)平塚市みずほ小学校にて「エコな買い物の仕方を学ぼう」講師を担当する。

2月14日(日)相模原市環境情報センターにて公募(21名参加)による「エコな買い物で誕生日パーティーを開こう」の講師を担当する。

各事業を行うために事前の定例会議を月毎に実施しました。

自然環境部会

部会長代行 吉田 榮一

平成22年度活動計画

- ・部会2回開催
- ・自然環境観察会2回開催
- ・国際会議を踏まえて、生物多様性に関する勉強会1回開催

平成21年度活動内容

- ・自然環境観察会3回開催(北海道幌別ネイチャーセンター付近9/15~9/17(金) 大岡川の源流を訪ね、円海山の自然観察10/28(水) 東京港野鳥公園2/18(木))

・「親子で楽しむ環境展」パネル展示6/13(土)

・自然観察部会開催1/21(木)

事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

5月13日(木) 6月10日(木) 7月8日(木)
8月12日(木)

理事会報告

- 1月14日(木) コミカレ連携講座の企画を協議、新ホームページへの移行を協議
- 2月4日(木) 市民環境活動報告会の開催準備について協議
- 3月11日(木) H22年度総会の開催日・会場を決定、議案内容を協議
- 4月8日(木) H22年度事業計画案、予算案等、総会議案書の内容を協議
終了した事業
- 2月13日(土) 環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」はまぎんこども宇宙科学館(主催:横浜市青少年育成協会)(詳細は3面に掲載)
- 2月14日(日)「エコな買い物学びましょう」相模原市立環境情報センター(グリーン部会)
- 2月27日(土) 第16回市民環境活動報告会(詳細は2面に掲載)
- 3月23日(火) 会員向け講習会「新エネルギーについて」(詳細は3面に掲載)



よこはま市民共同オフィス開設1周年
 当会も入居している「よこはま市民共同オフィス」が開設1周年を迎え、4月16日(金)入居団体ほか関係者が集まって記念パーティを開きました。中田前横浜市長も出席され祝辞をいただきました。



参加協力をお願いします!

(いきものみっけ連携)

気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」春～夏の対象; ヒキガエル、ツクシ、ベニシジミ、ツ、バメ、コシアカツバメ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ、ニホンカナヘビ、アメリカザリガニ、ホトトギス、カッコウ、エゾハルゼミ、アオスジアゲハ、クズの花、ゲットウの花、ノコギリクワガタ、カ、ブトムシ、アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたものだけを報告してください。県版マップデータ化します。

送り先: 大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858
 Eメール: km_inmt@ybb.ne.jp

(環境省主催いきものみっけシートの当会への重複送付も大歓迎! ただし当会は神奈川県版を作成しています。環境省いきものみっけのホームページは、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人
 神奈川県環境学習リーダー会 会報 第70号
 発行日: 2010年4月26日
 発行者: 代表理事 齋藤昭一
 編集人: 齋藤昭一 広報部長代行、長村吉洋 広報部
 〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-26
 洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内
 FAX: 050-3488-4943
 E-MAIL: npo.k.leader@gmail.com
 URL: <http://npo-k-leader.net/>
 寄付、会費等納入口座: ゆうちょ銀行
 00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会
 不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会
 2010 Printed in Japan